

文化経済学会<日本> 2018年度研究大会分科会 プログラム

分科会① 7月14日(土) 10:00-11:45

①-A 文化施設・文化資源 会場 RY401

座長 宮崎 刀史紀((公財)京都市音楽芸術文化振興財団)

論題	社会教育機関としての公立図書館における教育普及活動としての文化活動の検討
発表者	岩井 千華(九州大学大学院)
討論者	草加 叔也(空間創造研究所)

論題	地域の古写真と住民参加に関する考察
発表者	佐藤 忠文(九州大学大学院)
討論者	友岡 邦之(高崎経済大学)

論題	劇場、音楽堂等のロビー・ホワイエの開放と各種利用に関する研究 -共用空間を活用した「広場としての劇場」のあり方について-
発表者	古賀 愛乃(株式会社安井建築設計事務所)
共同発表者	本杉 省三(日本大学)
討論者	衛 紀生(可児市文化創造センター)

①-B コンテンツ文化 会場 RY402

座長 牧 和生(九州国際大学)

論題	日本映画における「自主映画」の概念の変遷と再定義の必要性
発表者	土田 環(早稲田大学)
討論者	増淵 敏之(法政大学)

論題	デジタルコミュニケーションはオタク女子の行動様式をどのように進化させたか
発表者	梅本 克(デジタルハリウッド大学)
討論者	牧 和生(九州国際大学)

論題	ウェブ小説が出版・コンテンツバリューチェーンにもたらすもの
発表者	松本 淳(法政大学)
討論者	阪本 崇(京都橘大学)

①-C 伝統文化 会場 RY403

座長 高島 知佐子(静岡文化芸術大学)

論題	茶道経済における価値構造
発表者	太田 直希(同志社大学大学院)
討論者	滋野 浩毅(京都産業大学)

論題	京都の伝統的工芸品産業における同業者町の変容とまちづくりへの展開
発表者	滋野 浩毅(京都産業大学)
討論者	後藤 和子(摂南大学)

論題	芸の発信 —京都祇甲の都をどりの創成を中心に—
発表者	中原 逸郎(京都楓錦会)
討論者	高島 知佐子(静岡文化芸術大学)

①-D 計量／理論**会場 RY404****座長** 勝浦 正樹(名城大学)

論題	How does family income influence the consumption of music by teenage children?
発表者	谷口 みゆき(慶應義塾大学)
討論者	有馬 昌宏(兵庫県立大学)
論題	文化・芸術の鑑賞・観覧活動の変化と現状
発表者	有馬 昌宏(兵庫県立大学)
討論者	小泉 真理子(京都精華大学)
論題	交渉によるチケット価格の設定(ネゴシابل・チケット・プライシング)の可能性
発表者	曾田 修司(跡見学園女子大学)
討論者	勝浦 正樹(名城大学)

分科会② 7月15日(日) 10:00-11:45**②-A 創造都市****会場 RY401****座長** 佐々木 雅幸(同志社大学)

論題	小規模都市を対象としたイノベーション政策の構築手法
発表者	徳久 悟(山口大学)
討論者	勝又 英明(東京都市大学)
論題	地域の「文化政策」はどのように醸し出されるのか?
発表者	岡田 智博(青山学院大学)
討論者	吉本 光宏((株)ニッセイ基礎研究所)
論題	「創造都市」における企業・人材の集積とその特性に関する考察
発表者	近藤 大蔵(横浜市立大学大学院)
討論者	佐々木 雅幸(同志社大学)

②-B 地域経済**会場 RY402****座長** 河島 伸子(同志社大学)

論題	地方都市の衰退するエリアにおける暫定コンテンツとしての趣味縁
発表者	加藤 康子(北海道大学大学院)
討論者	河島 伸子(同志社大学)
論題	戦後日本デザイン立国化過程における小池新二の千葉大学工業意匠学科デザイン教育から生まれた門下生「よろず会」の成立と展開に関する考察
発表者	藤原 恵洋(九州大学)
討論者	草加 叔也(空間創造研究所)

②-C 文化産業**会場 RY403****座長** 片山 泰輔(静岡文化芸術大学)

論題	マルチメディア産業の持続的な発展と文化の多様性ーサンフランシスコ市・ソーマ地区の国際事例研究ー
発表者	清水 麻帆(大正大学)
討論者	片山 泰輔(静岡文化芸術大学)

論題	大阪における音楽文化関連産業の集積について —ライブハウスの現況を中心に
発表者	本田 洋一(大阪市立大学)
討論者	藤野 一夫(神戸大学)

論題	工芸産業の振興に関する分析—文化政策と産業政策の政策統合を中心に
発表者	後藤 和子(摂南大学)
討論者	野田 邦弘(鳥取大学)

②-D アートプロジェクト 会場 RY404

座長 熊倉 純子(東京藝術大学)

論題	行政主導型アートプロジェクトの意義と課題に関する研究～「さいたまトリエンナーレ2016」のサポーターを事例に～
発表者	藤原 旅人(九州大学大学院)
討論者	松森 隆一(北陸大学)

論題	地域芸術祭におけるステークホルダーの研究 —「豊島つなぐプロジェクト」を事例として
発表者	山本 暁美(東京大学大学院)
討論者	吉田 隆之(大阪市立大学)

論題	アートプロジェクトの評価のあり方をめぐって ～別府市、竹田市におけるケーススタディからの学び～
発表者	三浦 宏樹(大分県芸術文化スポーツ振興財団)
討論者	熊倉 純子(東京藝術大学)

分科会③ 7月15日(日) 15:15-17:35

③-A スポーツ 会場 RY401

座長 川井田 祥子(鳥取大学)

論題	「社会的インパクト」形成を視点とするスポーツ振興施策
発表者	米村 真悟(同志社大学大学院)
共同発表者	横山 勝彦(同志社大学)
討論者	弘本 由香里(大阪ガスエネルギー・文化研究所)

論題	スポーツと文化によるポジティブ・ウェルフェア推進政策～地方自治体における政策融合を視点に～
発表者	内藤 正和(愛知学院大学)
共同発表者	横山 勝彦(同志社大学)
討論者	伊吹 勇亮(京都産業大学)

論題	英国のユニバーサル・アクセス権における倫理規定の成立過程 —スポーツ放送における公益性へのアプローチ—
発表者	小林 壘(同志社大学大学院)
共同発表者	横山 勝彦(同志社大学)
討論者	小林 真理(東京大学)

論題	スポーツとの関係からみたゲームの行動者の属性の変化に関する分析
発表者	仲村 敏隆(早稲田大学)
討論者	勝浦 正樹(名城大学)

③-B 観光・食文化 会場 RY402

	座長 古賀 弥生(九州産業大学)
論題	伝統的な食文化を支える地域農業 -岡山県真庭市と群馬県昭和村の「白小豆」を事例に-
発表者	森崎 美穂子(大阪市立大学大学院)
討論者	太下 義之(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)
論題	都道府県行財政と観光政策:戦略的投資と価値創出に向けて
発表者	金武 創(京都橘大学)
討論者	古賀 弥生(九州産業大学)
論題	文化資本としての物語観光 —近代輸出陶磁器を例に—
発表者	古池 嘉和(名古屋学院大学)
討論者	井口 貢(同志社大学)
論題	Co-Creative Learning Session～食をめぐる学びの冒険～
発表者	青木 幸子(昭和女子大学)
討論者	金武 創(京都橘大学)

③-C 会員企画セッション 会場 RY403

(会員企画セッションは、公募にもとづく会員の企画提案によって構成されるセッションです。)

論題	「劇場と社会」 劇場の事業を再定義し、これからの劇場像を描く試み —「あーとま塾2017」の成果報告を通して—
企画趣旨・内容	2017年度に可児市文化創造センターで、劇場に関わる人のためのアーツマーケティング・ゼミ「あーとま塾2017」を実施し、各回1泊2日で年間を通して計3回これからの劇場について考える機会を設けた。全国各地の劇場関係者(劇場職員、自治体職員、議員、NPO職員、芸術団体関係者、大学関係者、市民)が各回約30名集まり、「マーケティング」「社会包摂」「文化政策」の3つのテーマで、第一線で活躍する講師を招聘し、講師と塾生が双方向で意見交換を行った。 そこで本会員企画では「あーとま塾2017」において劇場の事業をどのように再定義し、それをそれぞれ所属する劇場にどのように反映できるのか、またどのような課題があるのかの成果報告と、劇場の現場からの声と合わせて今後の劇場のあり方についてディスカッションを行う。
報告者	発表者:遠藤ちひろ(多摩市議会議員) 他 あーとま塾2017の塾生2名程度 テーマ:「改修を迎えた劇場“パルテノン多摩”が、多摩ニュータウン再生に果たすべき役割(仮)」 予定討論者:衛紀生(可児市文化創造センター) コーディネーター:半田将仁(可児市文化創造センター)

(記載内容は変更される場合がございますので、ご了承ください)